



新

みんなの声で創ろう！市民センター

市役所と同じ敷地内にある市民センター（中央公民館・中央図書館）は、築 43 年を経過して老朽化が進み、使いにくさやスペースの狭さが問題となっています。2013 年に市から改修案が提示されましたが、「増床を視野に入れた改築」を求める市民の声が高まり、「市民センターを考える市民の会」が発足して市と協定を結び、市民センターの増改築に関する「市民提案書」をまとめました。市は、この「提案書」を尊重するとともに、より幅広い市民の意見も聞きながら、新しい改修計画を策定するとしています。

市民センターは文化や学びの場として、市民の多様な活動や学習の中核的な存在の公共施設です。市民の知恵を集めて、永く使える使い勝手のよい市民センターを創りましょう。



現在の市民センター

いつでも、誰でも、ひとりでも～市民が育ちあう学び・憩い・交流の場～

こんな市民センター（公民館・図書館）が欲しいな！「市民提案書」より

人がつながる 公民館

部屋数増、青少年の
居場所づくり

みんなが使って、交流が深まるように
部屋数、配置、設備を工夫



一人でじっくり、みんなでワイワイ
それぞれの学習室

ホールの充実で、
講演会、発表会、音楽会



障がいのある人もない人も
使いやすい施設・設備

太陽光や地下水を有効利用
自然にも人にも優しいエコな施設

「市民提案書」では新市民センターの床面積を
現在の約 1.7 倍にすることを提案しています。

コミュニティ・スペースはいつでも、
ふらっと来たくなる開かれた
スペースです。

コミュニティ・ スペースの新設

すべての市民に開か
れた憩いの場

カフェ・コーナー

ミニコンサート

活動発表の展示スペース

情報コーナー

乳幼児を遊ばせる
畳コーナー

活動の後にほっと一息



暮らしを豊かに する図書館

ゆったり明るく、利
用しやすく

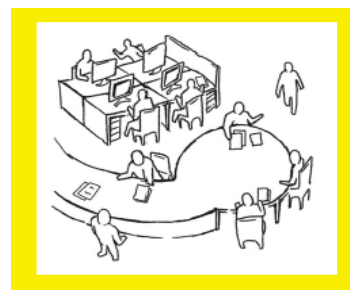
ゆったりしたスペース
のある滞在型図書館

資料倍増、ワクワクする
本と出会える場に

車椅子やベビーカーでも
楽々の広い通路と書棚

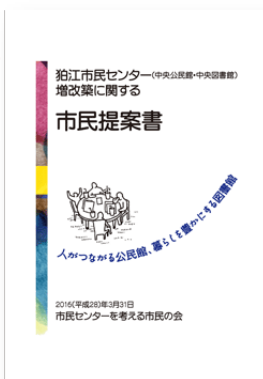


職員と利用者が気軽に相談できる
オープン事務コーナー



「市民提案書」は市民の会のホーム
ページでご覧になれます。

<https://komae-shimin.tokyo/>
図書館でも貸し出して
います。



市民の会ではみなさんの声を実現するために
木造縦増築案を提案しています。裏面をご覧ください。

発行：市民センターを考える市民の会 代表 立川節子 080-5403-4168



いよいよ本格的に動き出します！

市がアンケートを実施

市民センターの改修について、今後どういった改修規模や改修方法が良いか等を検討していく上で、市民センターの利用者だけではなく、利用されていない市民にも広く意見を求めるとして2500人にアンケートを実施しています(2月21日～3月13日)。アンケートでは市民提案書を基に市が検討した◇全面建て替え、◇前面横増築、◇縦増築、◇分散案、◇改修のみ、などの案と、◇市民の会提案のCLTを用いた木造縦増築案が提示されています。

市民の会が提案している木造の縦増築案とは？ その魅力と、追加調査に必要な予算

CLTを用いた木造縦増築とは、現在の市民センター(鉄筋コンクリート造)の上に、CLTという木質系材料/直交集成板と鉄骨を組み合わせたフロアを載せるものです。

- ＜魅力1＞ 市民の要望(増面積、利便性、社会教育施設としての役割発揮等)を満たしながら、低コスト・短工期・省資源を実現。
- ＜魅力2＞ 人と地球にやさしく、耐震・耐火性でも課題克服
木材利用は①調湿性、②断熱性、③「優しさ」、「癒し」の効果。
軽くて丈夫な構造材として中・高層建築への活用が推進されています。耐火性についても十分な研究・対策がなされており、数十年後の解体時に再利用も可能なエコな素材。
- ＜魅力3＞ 敷地面積はほぼ同じなので、広場を減らさないで済む。
- ＜魅力4＞ 公的助成制度も十分期待できる。

＜実現に向けて必要な追加調査＞

木造CLT縦増築は公共施設では国内に例がなく、耐震安全性の確認が重要なポイントとなります。構造の専門家により従来用いられてきた計算方法で、地震の横揺れなどにも耐えられる十分な安全性が確認されていますが、建築基準法に則って許可を受けるためには、さらに追加調査が必要(500万円程度の見積もり)です。この調査で構造の安全性が確認できれば、予算だけでも大幅なコスト削減が可能となります。

市も市民の要望が強ければ検討すると言っています。

2019年の中央公民館のつどいの展示に寄せられた声



- *トイレを洋式にして欲しいです！
- *ちょっとひと休みできるカフェ・コーナーを！
- *最新の保育施設を
- *早く改装して欲しい。
- *音楽を楽しめるホールを
- *健康にも良い木材活用を
- *30人位が活動できる部屋がほし

い。会場取りが大変。

- *活動する部屋がたくさん欲しい。
- *この冷たい雰囲気はもうイヤ。あたたかみのある色にして欲しい。壁とか…。

- *コーヒーが飲める図書館がほしい。ゆっくり読書。
- *木の香りがする図書館が欲しいです。
- *図書室の中の椅子が少なく、新聞・雑誌を読む人で混んでいる。ゆったり座れるスペースがほしい。
- *市の直営で赤ちゃんから高齢者まで一人ひとりの市民要求に応えられる専門の職員がいる図書館
- *としょじつ9時からあけてほしい。マンガとか小せついっぱい。
- *子どものコーナーにゆっくり親子で絵本を読める所が欲しいな！
- *おはなしの室はークラスがはいれるような広さが欲しいな！

その他こんな声も

- *コミュニティ・スペースに悩みや活動の相談コーナーを設けてほしい。
- *炊事施設や和室などあるので、災害時にも活用される安心の場所に。
- *公共施設でCLTを用いた縦増築はまだないので、既存建物を活かした例として注目され、見学に来るに違いなし。

もっと知りたい方は、3月11日(水)から15日(日)に開かれる「中央公民館のつどい」で展示していますので、地下ロビーにお越しください。



あなたの声をお寄せください！

市民センターを考える市民の会へのご意見ご要望等は、市民の会ホームページの問い合わせフォーム
<https://komae-shimin.tokyo/inquiry> またはメール office@komae-shimin.tokyo をお願いします。

